

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・10月はプロ野球の試合が開催されず、乗場者数は前年比で減少しているが、11月から来年1月には多くのコンサートが開催されるため、集客の増加を予想している。
	○	一般小売店〔花〕（経営者）	・年末に向かって行事も増え、購買意欲が高まる時期となる。生活必需品の値上げが気になるものの、多少の景気回復が期待できる。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・直営店の利用者をみると、円安の影響か、欧米からの旅行者が急増している。
	○	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・気温が下がり、秋の行楽シーズンやクリスマスに向けて、ニットやコートなど的高額商品が売れる時期となる。今年は暑い時期が長く、秋物商材を余り購入していない人が多い。夏服からいきなり冬服に移る客も多いため、冬物商材のまとめ買いが期待される。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・インバウンドの団体客の予約が入っているなど、少し明るい兆しがみられるが、国内需要は相変わらず停滞気味である。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・天候が落ち着き、人の動きも活発になれば、商品の動きが良くなることを期待している。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・気温の低下とともに、季節商材の動きが活発化することで、紅葉シーズンやクリスマス、年末商戦の盛り上がりが見込める。
	○	百貨店（販促担当）	・今月は異常気象の影響が顕著であったが、今後は通常の気温に戻ることで、需要もある程度回復すると予想される。ただし、寒い時期が減ることで、ファッション関連の需要にどう影響するのか、値下げのタイミングを含めて、今後の気温の推移を元に検討する必要がある。
	○	百貨店（マネージャー）	・コロナ禍の収束後、初めてとなった前年のクリスマスや年末年始に対し、今年の需要は更に伸びることが予想される。今年のお盆期間の売上も好調であったため、期待がもてる。
	○	百貨店（外商担当）	・中国からの旅行者が増えているため、インバウンド売上は再び増加に転じる可能性が高い。国内の富裕層を中心とした客も、高級海外ブランドや美術品への旺盛な需要が見込まれる。
	○	スーパー（企画）	・今後は気温の低下とともに、秋冬商材の動きが良くなることを期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・値上げの発表された商品が増えたため、今後は客単価が少し上昇する見込みである。
	○	コンビニ（店員）	・年末年始の長期休暇もあるため、売上は少し増える。
	○	家電量販店（経営者）	・補助金効果と冬物商戦の盛り上がりで、省エネ型給湯器や浴室リフォームの販売量の増加を期待している。
	○	家電量販店（店員）	・決算終了後の下半期の10月は、単価の高いエアコンの販売量が伸びないため、別の家電で売上を伸ばす必要があるが、冷蔵庫や洗濯機の値上がりで、購入には慎重な動きがみられる。ただし、11月から12月はボーナスの支給もあるため、少しだけ景気は上向くと予想される。
	○	家電量販店（営業担当）	・狭い業界であり、1つの競合先の動きが変われば、予想以上の影響があることを実感している。変化に合わせた対応をとることで、実績の若干の増加につなげることができる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・少しずつ新車の販売予約も増え、一般修理も予約がたくさん入っている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・12月商戦に向けて、客の動きが活発になる時期であるため、どれだけ販売促進策を実施できるかが重要となる。
	○	乗用車販売店（支店長）	・年内は良くなると予想されるが、来年の動きは不透明である。
	○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・年末商戦にかけており、ボーナス支給や賃金の増加を背景に、新商品の発売などによって差別化を図ることで、新規客の獲得が期待される。
○	高級レストラン（スタッフ）	・ここから年末までは、予約数や客単価が上向くことを期待している。	
○	高級レストラン（企画）	・インバウンドの来客数、客単価が引き続き上向いており、国内旅行の需要減をカバーする状態が続く。	

○	一般レストラン（店員）	・年末に向けてのおせちの問合せが、例年よりも早まっている。予約が前年よりも増えることを期待している。
○	一般レストラン（企画）	・来客数の回復が好材料となっているが、利益面では引き続き材料費が高いほか、10月からの最低賃金の引上げで人件費が増え続けている。必要な費用ではあるが、経営が圧迫されている。
○	観光型ホテル（経営者）	・11月以降の3か月の先行予約状況も、団体客、個人客共に好調である。12月は大人数の忘年会などは減少傾向であるが、少人数のグループや個人客の動きは引き続き活発である。
○	観光型旅館（経営者）	・政局も落ち着くことで、消費が上向くことを期待したい。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・年末年始の需要は例年並みであり、レストランと併せた企画での、高単価の商品も想定どおりの販売となっている。
○	都市型ホテル（客室担当）	・客室稼働率、客単価共に、順調に推移している。
○	都市型ホテル（客室担当）	・主に季節的な要素により、やや良くなると予想される。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・今は好調を維持できており、今後の客室予約状況をもて、上昇の波に乗っている。レストランは先行き不透明であるが、客が選ぶメニューの料金もアップしているなど、何ものなければ好調を維持できる。
○	タクシー運転手	・季節的な動きにかなり左右される。今の時期は歩いても汗をかかないが、飲食店で飲酒する機会が増えるため、少しずつ利用が増えると予想される。
○	通信会社（社員）	・年末年始の冬物商戦では、総販売額がアップする見込みである。
○	ゴルフ場（支配人）	・来場者数が季節要因の影響を受ける時期となるが、予約状況は順調であるため、今後はやや良くなる。
○	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・冬になれば、雪目当てのインバウンドの増加が予想される。
□	商店街（代表者）	・客の意識が安値志向となっているため、大きな変化は見込めない。
□	一般小売店 [時計]（経営者）	・諸物価の上昇により、暮らしにくくなった実感があるほか、客からは治安が悪くなったとの声も増えている。今の景気が良くないことを示したものであり、今後についても期待はできない。
□	一般小売店 [化粧品]（経営者）	・商材が枯渇するなか、化粧品は生産に半年掛かるため、年内の供給は難しい。結果として、しばらくは品切れ状態で推移することが予想される。ただし、クリスマス向けのコフレ商材はふんだんにあるため、ギフトマーケットには期待を持てる。客の購買意欲もそこまで下がっていないと考えられる。
□	一般小売店 [衣服]（経営者）	・今後は政治がどのように落ち着くのか見通せないほか、米国大統領選挙の結果による日本経済への影響も分からない。先行きは不透明ななか、決して楽観視できず、不安ばかりが募る。
□	一般小売店 [野菜]（店長）	・衆議院選挙での政権与党の敗北で、景気が冷え込むなか、今後は米国大統領選挙の結果次第で、景気は更に悪くなる。
□	一般小売店 [呉服]（店員）	・ようやく客が店外催事に参加してくれるようになったが、急激に良くなるとは予想していない。これからも催事に少しずつ客が参加するようになれば、景気も良くなる。
□	百貨店（企画担当）	・好調であったラグジュアリー商品も他地区では陰りが出てきたと聞いている。当社はまだ売上を維持しているが、いつまでも続くとは考えていない。また、10月に大きく悪化した衣料品が、今後劇的に回復してくるとも考えられない。
□	百貨店（企画担当）	・為替と株価の変化による影響が大きいため、衆議院選挙後の動きに注目している。
□	百貨店（サービス担当）	・年末商戦の開始による来客数の増加に加え、集客催事の強化やショップのリニューアルオープン効果により、売上の前年実績は確保できそうである。
□	百貨店（管理担当）	・競合の激化や、インバウンドの頭打ちが予想されるなど、今後は一進一退の状況が続く。

<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・涼しくなってきた10月下旬も、秋物衣料の動きは低調であった。こうした動きをみていると、冬物コートなどの動きにも余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・インバウンドの動きは、様々な地域に分散する傾向がみられ、これから更に増える見込みは薄い。国内の富裕層についても、現状維持の傾向が続くと見込まれる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・これまで良かった要因は来街者の増加であり、その中心はインバウンドであった。ただし、これらは数か月前から落ち着きを見せ始めており、直近に大きく増減することはない。中国人客の増加は予想されるものの、中間層の増加が中心となるため、百貨店業界に大きなインパクトを与えるものではない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・国内外の選挙結果や、為替相場のほか、海外情勢の変化に左右される状況が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・冬物の実需期となるため、客の購買意欲が高まることが期待されるものの、賃上げ効果の顕在化は遅れている。さらに、関西はなかなか気温が下がらないこともあり、国内客の売上は今後も苦戦が予想されるなか、インバウンド頼みとなる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・インバウンド消費の一巡で大きな期待はもてないが、堅調には推移すると予想される。富裕層の消費も、クリスマスや年末商戦で特選品や時計などが一定の動きとなりそうである。中間層はコストパフォーマンスを意識し、選択消費が続くと予想されるなか、おせちの受注の出足は良いため、消費を喚起する仕掛けや内容が問われる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・10月に入っても気温の高い状態が続いているため、ファッション関係の動きが厳しくなると予想される。特に、コートやアウター、マフラー、ストール、帽子などへの影響が出ており、11月中旬までは現状の傾向が続く見込みである。また消費環境としても、衆議院選挙や米国大統領選挙などの外的要因の影響が予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・食品スーパーでの消費の増加につながる要素が見当たらないため、厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価の上昇に賃金の上昇が追いつかず、特に衣料品関係の厳しい状況は続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・現状は季節商材の動きが非常に悪い。今後は気温次第で販売状況は変化するものの、衣料品を中心とした季節商材は定価販売の期間が短くなり、利益の減少につながることを予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・例年どおり寒くなれば、鍋物野菜も売れ始める。ただし、暑さが続けば夏物野菜の価格も高いままとなるため、その場合は厳しい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・競合先の出店もなく、来客数、売上共に大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・国政の混乱が経済政策にどのような影響を及ぼすかは不透明であるが、ばらまきの傾向が強まりそうである。中長期的には悪影響があるものの、短期的には景気にとってプラスになると予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・今後2～3か月は、最低賃金や給与のアップの予定はなく、新たな補助金などもないため、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・インバウンドの最近の傾向として、連泊が増えている。また、寒くなってくるため、おでんや肉まんなどの温かい商品を中心に、多く買ってもらえるように工夫していく。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・当面は暇な状況が続くことが懸念されるなか、11月は景気の回復を期待したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・傾向としては、様々な商品の価格が上がるなか、求めやすい価格の商品に客が流れるのは仕方がない。高額な商品に手が伸びることは期待しにくい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・給料も上がっていないため、自分たちで何とか対策を採るしかない客も多い。削減が可能な出費を減らしながら、日々やりくりしている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・この先も景気が上向く要素は見当たらない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・手作りパンやプライベートブランド商品、弁当などの新商品が出ているが、価格が以前よりも上がり、客からもその指摘を受けている。様々な事情で値上げは仕方がないものの、物価上昇の流れに、自分も客もついていけない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・価格の上昇などの影響はまだ続く一方、収入は上がらないという声も多い。政治の動向も踏まえ、もう少し長いスパンで判断する必要がある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・どの商品も価格が上がり続けているが、手取りが増えないため、買い控えが続いている。今後も劇的に変わることはない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・住宅省エネ2024年キャンペーンにより、省エネ型給湯器が売れている。これから冬物商材が動き出すなか、今年は来客数の増加が見込めないため、浴室のリフォームや太陽光発電、蓄電池などのセット提案、グレードの高い商品への振替販売を行い、単価を上げていく必要がある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車の生産、販売の動きは一巡したと考えられる。今後は生産調整もあり、市場では品薄状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・生産台数に応じた販売量となっており、今後も当面は安定が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・円安の影響で物価の上昇が続いている。3か月後もこの状態が続くため、現状と変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [食品]（経営者）	・インフレに慣れてくるのは、もう少し全体の所得が上がってからである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当）	・今後は衆議院選挙後の政局の動向や、為替、株価の動きなど不透明な部分は多いが、景気は現在と大きく変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・客の年齢層が相変わらず高いなか、今後も若年層が宝飾品に興味を持つ可能性は低い。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	・化粧品やスキンケア用品は順調に動いているが、気温の低下に伴う、秋冬商材や風邪薬などの売上の変化はない。一方、食品の値上げで客単価の上昇や買上点数の減少が進んでおり、今後も同様の動きが続く。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（総括）	・衆議院選挙、米国大統領選挙には不確定要素が多く、結果次第で状況が変わることになる。国内客の消費も先行きは不透明ななか、大きく消費が増えるイメージはもてない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・暖冬のため、冬用の作業服やユニフォームなどの売上は期待できないが、マスクなどの販売増でカバーする。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・物価の上昇がまだ続くなか、高齢者は年金生活であるため、買い控えの傾向が続く。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・人材確保の難しさや物価の上昇、安定供給が難しい材料の仕入れなどで、まだ振り回されることが多く、景気が上を向いているとは言い難い。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機（飲料）]（管理担当）	・良くなることはなく、悪いままの状態で推移する。ただし、実感としては値上げに慣れてきた部分もあり、以前と比べると危機感が薄れてきている。金利の変動もあり、これからは生活は徐々に苦しくなることが予想される。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・物価の上昇や品不足、人手不足といった問題に対し、政治的に手が打てなければ、今の状況は打開できない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・冬のオフシーズンの予約も徐々に増えており、まだ需要があると考えられる。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総務担当）	・予約状況を見ると、宿泊利用は引き続き堅調である。一方、宴会は年末年始の利用を期待しているが、レストランは特にディナー帯の集客が苦戦しそうである。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・今年の年末年始は日並びが良く、連休になるため、客の旅行マインドも高まると期待される。ただし、まだその気配はなく、状況に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・客の需要を喚起するような商品やサービスはないが、底堅く一定の需要は見込まれる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・インフラとしてのサービスであるため、短期での景気の影響は受けにくい。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・インバウンドを含む来場者がほぼ戻り、3か月前と同様の推移が続くと予想される。

□	遊園地（経営者）	・現時点では、個人消費に大きな影響を与える要素が見当たらない。衆議院選挙もあり、消費喚起策などが出てくるのは、もう少し先になると予想している。
□	競輪場（職員）	・例年であれば、年末年始の時期は良くなる傾向にあるが、不安定な政局や物価の上昇を考えると、状況は変わらない。
□	競艇場（職員）	・全国発売のSG、G1競走の売上は、インターネット投票を中心に好調を維持している。今後も大きな変化はなく、安定的な推移が予想される。さらに、年末年始にはビッグレースが予定されているため、若干の伸びが期待できる。
□	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・様々な場面で、モノの価格の上昇が痛感される。当社の事業では、売上、経費共に増えているが、利益は減っている。経費をいかに抑えるかを工夫し、少しでも利益を増やす努力が求められている。
□	その他レジャー [スポーツ施設]（業務担当）	・衆議院選挙後の政治動向によって大きく変わる。
□	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	・物価の上昇が止まらず、不景気のなかで、教育費は最低限の支出で対応する意図がみられる。
□	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	・景気がどうなるか、実際のところは推測が難しい。
□	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・政治を変えなければ生活が変わらないとすれば、この先も変わらない。
▲	百貨店（売場主任）	・現時点で客から前向きな声がないほか、取引先も更なる合理化を進めており、退店の話題が多い。
▲	百貨店（売場主任）	・中東情勢の不安定化によるエネルギー価格の高騰や、ウクライナ情勢の混迷によるインフレ懸念が絶えないなか、賃金の上昇が追い付いていない。
▲	百貨店（企画担当）	・11月も気温が高めとなる予想であり、秋冬衣料が動くことで売上をばん回する期待は薄い。一方、先日の衆議院選挙の結果に伴い、先行きの不透明感が強まったことで、消費の活性化も不透明となっている。
▲	百貨店（商品担当）	・今秋の新ショップの集客効果も数日のみで、店全体への効果も限定的である。集客イベントも人は集まるが、売上全体への影響は限定的となっている。購買意欲の低下がみられるなか、唯一の例外は物産催事であり、北海道や九州などの食に特化したものが人気となっている。
▲	スーパー（経営者）	・燃料や資材価格、製品の原価が高騰している影響で、消費者の買い控えが目立つ。
▲	スーパー（企画担当）	・競合店が2店舗オープンする予定であり、関連店舗の売上減少は否めない。今のうちに店舗の管理レベルを上げておき、リピーターを増やす準備を進めておくことが必要である。
▲	スーパー（販売促進担当）	・気温が低下してくれば、商品も動くようになるが、冬物商材の動き出しが遅れている分、販売期間としては短くなる。それに伴い、10月の落ち込みを回収するほどの伸びは見込めない。
▲	スーパー（開発担当）	・毎月の物価上昇の影響で消費が冷え込んでいる。賃金が上がらないなかでの物価の上昇は厳しい。
▲	スーパー（社員）	・今年に入ってから、商品価格の上昇と、客の買上点数の減少傾向が続いている。今月から社会保険料負担も増えており、当面は厳しい状況が続くと予想される。
▲	衣料品専門店（経営者）	・家賃の下落が止まらない。空き店舗が埋まっても、すぐに新たな空き店舗が発生する。最近は周辺で買取り店の出店が相次いでおり、個人の持ち物を現金化する商売が好調のようである。その一方で、新しい商品を販売する店が減少している。
▲	衣料品専門店（店員）	・業界は閑散期に入るため、景気はやや悪くなる。
▲	家電量販店（店員）	・新内閣発足を経て、これからどうなるのかが見通せない。先行きには不安しかかないなか、景気は悪くなると予想される。必要最低限の商品しか購入に至らないなど、厳しい状況は今後も変わらない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・消費者物価が予想以上に上昇している。

	▲	乗用車販売店（役員）	・車両単価が上昇するなか、販売台数は横ばいか微増となっているため、ここ数か月は売上が好調に推移してきた。ただし、数か月先の受注台数は少ないほか、限定車の人気による恩恵も薄くなっている。国産車の生産が回復しつつあり、高級輸入車との競合も少ないとはいえ、こうした状況の影響が懸念される。
	▲	住関連専門店（店長）	・来年の購入計画を相談に来る新規客が増える時期にもかかわらず、来客数や問合せが前年よりも減っている。その一方、予算が少ない客の割合は高まっている。
	▲	都市型ホテル（フロント）	・11月から12月は引き続き好調となるが、閑散期である来年1月はインバウンドが減少し、国内客の動きも鈍くなる。
	▲	都市型ホテル（客室担当）	・需要の閑散期に入るため、客室稼働率が下がる。円安と海外需要で、客室の販売価格は比較的高い水準で推移しているが、先行予約は伸び悩んでいる。仮に低価格商品で販売室数を増やすと、経費とのバランスがとれなくなるなど対応が難しい。
	▲	旅行代理店（店長）	・本来であれば、カニを中心とした冬の味覚目的の旅行が増える時期であるが、日帰りを含めて価格が高騰しているほか、残暑が続いた影響もあり、販売が伸び悩んでいる。また、衆議院選挙で政権与党が大敗し、政治的混乱につながるため、漠然とした先行き不安による個人消費の停滞も予想される。
	▲	旅行代理店（役員）	・衆議院選挙の影響もあって人の動きが少なくなり、旅行需要にも影響が出ると予想される。また、再び円安の動きが出てきたため、海外旅行への影響が懸念される。
	▲	タクシー運転手	・老後の不安や、政治への不安に加え、安定や余裕、ゆとりが少なくなっている。こうした不安要素が、生活を守る動きにつながっている。
	▲	通信会社（経営者）	・政情不安により金融政策も停滞することになる。
	▲	通信会社（社員）	・コロナ禍を経て、まだ需要が戻ったとはいえない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・依然として建築コストは上昇しており、利益の減少も続いている。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・衆議院選挙で政権与党が敗北した影響が出ると予想される。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新築分譲マンションの販売に関しては、金利の上昇や工事費の高騰といった逆風のなか、売行きはますます鈍化しそうである。
	▲	住宅販売会社（総務担当）	・価格の上昇に伴って買い控えが発生するなど、様子見の客が増えている。
	▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・建築単価の上昇による消費マインドの低下傾向は、当面続くと予想される。
	▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・衆議院選挙の結果を受けて、政権運営が不安定となることで、消費者の心理面にも悪影響を及ぼす。
	×	商店街（経営者）	・物価の上昇による悪影響が出る。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・米国大統領選挙の影響で悪くなることが予想される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・気候条件や周囲の状況が悪く、現状は客が買物する気になっていない。
	×	家電量販店（店員）	・様々な商品価格の上昇が、不調の大きな要因である。補助金などの対策は、国、自治体を実施するため安心感があり、そのときは一定の効果が出るものの、やはり一定の層しか動かない。また、需要の早期刈取りにつながるため、期間終了後は需要の枯渇が避けられない。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・物価の上昇で、節約する人が増えてきている。
	×	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、夏よりも冬の方が来客数は減少する。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・為替は再び円安傾向にあるが、冬の期間は取扱商材の需要が増えるため、先行きには期待している。現在は在庫が増えるなど厳しい状況であるものの、改善が進む予定である。
	◎	化学工業（企画担当）	・インバウンド需要が堅調なほか、年末年始は食品需要の最盛期となるため、先行きが期待される。
	○	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・年末年始に向けてイベントの動きも活発化するため、受注量の若干の増加を予想している。

<input type="radio"/>	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注残が順調に増えている。
<input type="radio"/>	建設業（経営者）	・年末にかけては、駆け込みを含めた案件の増加が予想される。これまでの受注残もあるため、限られたマンパワーでいかに対応するかは悩ましい問題である。
<input type="radio"/>	広告代理店（営業担当）	・今年に入り、Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年を上回る状態が続いている。
<input type="radio"/>	経営コンサルタント	・インバウンドに支えられた現在の景気や物価が、国内消費をどう変えるのかに注目したい。
<input type="radio"/>	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・衆議院選挙が終わり、内閣が安定感を持つてくると、徐々に円が買われる地合いとなる。1ドル130円程度の円高を予想しているが、そうなれば輸入物価が安定し、日用品の価格が徐々に下がるため、購買意欲も増す。給与の増加とうまく組み合わせれば、消費の増加サイクルが動き出すため、先行きには期待している。
<input type="checkbox"/>	食料品製造業（従業員）	・年末にかけては商品も動くため、現状が維持できればよい。
<input type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・クリスマスや年末年始に向けての催事が行われるが、物価上昇の影響で、消費者の購買動向は余り変わらない。
<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・状況が変化する材料がない。
<input type="checkbox"/>	化学工業（管理担当）	・自動車向けの出荷量が堅調に推移する見込みである。
<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・円安傾向や物価の上昇により、実質賃金は前年比でプラスになっていないが、賃金自体は上昇傾向にある。ただし、2～3か月先の景気は一進一退の動きで、大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・秋物需要や海外からの需要に期待している。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（営業担当）	・ある程度の仕事は確保できているが、忙しくなる様子はなく、先行きの不透明感は拭えない。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・小口案件は引き続きコンスタントに受注できる見通しであるが、大型案件の引き合いが少なく、ここ数か月では景気の大きな改善は見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（設計担当）	・マスコミが景気の悪化をあおり過ぎて、全体的に悪いようにみえるが、仕事量などをみると、現状維持がしばらく続きそうである。さらに、徐々に好転していく気配も出てきている。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・今のままでは海外に負けっぱなしに終わるおそれがあり、国内企業の創意工夫が求められる。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・政局も不安定であり、先行き不透明である。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（営業担当）	・衆議院選挙の結果次第で変化する。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・衆議院選挙の結果、政権与党の体制作りで手一杯となるため、景気対策が打たれることはない。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（役員）	・原材料価格が下がらず、高止まりとなるが、受注額はそれに見合った水準にはならない。
<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・一部の建設資材価格の高騰や、不確定な納期の問題も続いており、受注の動きに影響が出ている。また、残業や休日出勤の問題は価格転嫁が難しい部分があり、その点でも苦労している。
<input type="checkbox"/>	輸送業（商品管理担当）	・例年10月は売上が減り、そのまま年内は同じような動きとなるため、今年も大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・受注状況の改善も、大阪・関西万博の特需もないため、余り変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・年末までは今の状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	司法書士	・国内外に様々な問題はあるが、当分は現状と変わらない状態が続く。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・全ての物価が上がっているため、景気が上向いていない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・今年の冬は平年並みの寒さで、冬らしい気候となるため、冬物商材が通常どおりに売れることを期待したいが、物価の上昇による影響が気になる。

	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・例年は10月になれば冬物商材の注文が増えてくるが、今年は夏が暑く、今も暑さが続いているため、動きが悪い。
	▲	繊維工業（総務担当）	・消費者による呉服の使用頻度が減っているため、購入意欲の減少につながっている。
	▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・業界にも良い話が少ない。単発的な仕事をかき集めている状況で、しばらくは現状の厳しい環境が続く。
	▲	建設業（経営者）	・物価に加えて、金利の上昇もあり、ますます住宅の新築に対する意欲は低下が予想される。国による住宅減税等の対策が望まれる。
	▲	通信業（管理担当）	・物価の上昇が続く一方、収入は増加しないため、景気は冷え込む。
	▲	金融業（営業担当）	・政局の今後の動向や米国大統領選挙の結果により、状況が大きく変わると予想される。
	▲	不動産業（営業担当）	・今後もネット販売が増えることで、1階のアパレル店舗の撤退が増える。賃料の低下や空室率の上昇につながることで、街の活気が失われ、景気も悪くなる。
	▲	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・政情不安により、やや悪くなる。
	×	繊維工業（総務担当）	・今までにない猛暑や豪雨の影響で、秋物、冬物商材の売行きが悪い。新規の生産や販売が止まっている状況が続いている。
	×	化学工業（経営者）	・月間の売上、受注額は過去10年間で最も悪く、当面は良くなる要素が見当たらない。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・そもそも1ドルが150円を超える状況が続くなかで、業績が良くなる業界ではない。
	×	輸送業（営業担当）	・全ての運送会社が、人件費の引上げに必要な財源を確保できていない一方、まだ値下げ競争が続いているため、社員は減っていく一方である。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・先行きにはただ1つ、積極財政を期待したい。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価対策が講じられておらず、消費者物価を下げる対策が早急に求められる。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・年末を迎えるほか、大阪・関西万博の求人や求職者の動きが活性化すると予想される。
	○	人材派遣会社（支店長）	・年度末に向けた、駆け込み受注が予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・2025年卒の新卒採用で、今の時期でも大手企業による追加募集が行われている様子から、2026年卒では採用数を更に増やす企業が出てくる。それに伴い、求人広告などの露出も増えることが予想される。
	○	その他雇用の動向を把握できる者	・金利の動向などからも円安傾向となる見込みであり、インバウンド需要の増加は続く予想される。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・世界情勢の不安定化、物価の上昇といった不安要素はあるが、しばらくは今の状況が続く。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き、事務や経理などの事務職の求人は減少し、DX対応ができるOA事務や、顧客対応ができる人材といった、機械に代替されない職種の求人が増える。それに伴い、仕事を探している求職者とのマッチングが難しくなると予想される。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・衆議院選挙や米国大統領選挙など、世の中が大きく変わる要素はあるが、家計の余裕資金が増えない限り、消費は増えないため、景気が今よりも良くなることはない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地元産業の商品プロモーションといった新聞広告費の推移は、今後も変わらないと予想される。ただし、衆議院選挙の結果や、大阪・関西万博の開催気運の醸成状況によっては、良くなる可能性もある。
	□	職業安定所（職員）	・9月の新規求職者数は前年比で増えたが、雇用保険受給者の新規求職登録は、前年比で10か月連続の減少となっている。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数は増えているが、最低賃金の引上げによる人件費の増加が、中小企業にとって負担になっているという声が多い。	

<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・慢性的な人手不足であるものの、最低賃金の引上げによる人件費の増加が経営に大きな影響を与えており、求人を抑える動きが依然としてみられる。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・今年度の求人動向は一進一退の状況が続いている。今後も大きな状況の変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（職員）	・中小建設業の求人条件は、元請企業からの請負額がなかなか上昇せず、賃金に反映できていない。求人募集を行っても、募集条件が他業種よりも悪く、求職者が集まらない。また、元請企業から下請従業員への雇用形態に対する要望も、近年は特に厳しくなっており、中小建設業者は今後の事業存続に危機感を持っている。
<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数は増えても求職者が少ないため、景気に大きな変化はないと考えられる。
<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・2026年卒の求人も動き出しているが、求人数は特に増えていない。
<input checked="" type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・不安定な海外情勢や、衆議院選挙での政権政党の過半数割れによる株安への不安などが、景気に悪影響を及ぼすとみられる。その一方、好材料は余り見当たらない。
×	*	*